

平成26年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

| | | | | | | | |
|---------------|----------------------|--------------------------|---------|-----------------|-------|----|-----|
| 部等名 | 市民福祉部 | 課等名 | いきいき長寿課 | 記入者名 | 外園 俊美 | 内線 | 163 |
| 事務事業名 | 高齢者等住宅改造助成事業 | | 事業期間 | 平成 9 年度 ~ 平成 年度 | | | |
| 総合計画上の位置付け | 基本方針 | 思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり | | | | | |
| | 施策 | 高齢者福祉の充実 | | | | | |
| | 細施策 | 安心と安らぎのある体制づくり | | | | | |
| 根拠法令・条例、関連計画等 | 出水市高齢者等住宅改造費助成事業実施要綱 | | | | | | |
| 予算細々目名 | | | | 会計 | 款 | 項 | 目 |
| | 高齢者等住宅改造助成事業費 | | | 01 | 03 | 02 | 01 |
| | | | | | | | |

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

高齢者等の在宅での生活を支援するため、在宅の要援護者及び重度身体障害者がいる世帯に対し、住宅改造に必要な経費を助成することにより、要援護高齢者等の自立促進、寝たきり防止等及び介護者の負担軽減を図る。介護保険事業で行っている居宅介護住宅改修費の補完的な事業として進めている。

3 事務事業の概要

| H25年度の事業概要 | H26年度の事業概要・計画 | H27年度の事業計画 | H28年度の事業計画 |
|--|--|------------|------------|
| 助成割合 1 / 3 助成限度額 200千円（1件当たり） 助成実績 3件 119千円 | 助成割合 1 / 3 助成限度額 200千円（1件当たり） 助成見込 3件×100千円 | H26年度事業の継続 | H27年度事業の継続 |

4 事務事業の対象・手段・意図

| 対象（誰・何に対して行う事業ですか） | 手段（対象に対してどのような活動を行うのですか） |
|---------------------------------------|---|
| 要介護認定において、要介護・要支援の認定を受けている高齢者等又はその世帯員 | 既存の居室、浴室、洗面所、台所、便所、玄関、廊下又はその他必要と認められる住宅の設備、構造等をその高齢者等の身体の状況に適応するように改造した費用に助成する。 |
| 意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか） | |
| 高齢者等が在宅での生活を継続できるよう支援する。 | |

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

| 区分 | 指標名 | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度目標 | 27年度目標 | 28年度目標 | 最終目標 | |
|------|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|-----|
| | | | | | | | | | 年度 | 目標値 |
| 活動指標 | ① 助成件数 | 件 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | | |
| | ② | | | | | | | | | |
| 成果指標 | ① | | | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | | | |

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

| | | |
|--|--|--|
| 有効性 | 成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ない | 理由 居宅において安心して暮らせるよう支援するため、必要に応じてサービスを提供するものであり、さほど成果に変動はないものと思われる。 |
| | <input type="checkbox"/> ある | |
| | 廃止・休止した場合の影響はありますか | |
| 効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> ある | 理由 本事業は、住宅改造に要する経費の内、介護保険の住宅改修費の支給で補えない部分に助成するものであり、廃止した場合、高齢者の負担が増えることになる。 |
| | <input type="checkbox"/> ない | |
| | 成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください) | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ない | 理由 県単事業が平成19年度で廃止されたことにより、限度額及び補助率の見直し、減額したうえで市単独事業として実施していることから、削減の余地はない。 |
| その他 | 類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む) | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ない | 理由 類似事業は無く、統合の可能性は無い。 |
| | <input type="checkbox"/> ある | |
| | 市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください) | |
| その他 | <input type="checkbox"/> はい | 理由 本事業には該当しない。 |
| | <input type="checkbox"/> いいえ | |
| 他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください) | | |
| 県内の他3市(いちき串木野市、曾於市、奄美市)で実施されている。 | | |

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

| 今後の方向性(総合評価) | 方向性の理由、改善案等 |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 | 本事業は、県内の他3市でのみ実施されている状況であるが、改造経費が介護保険住宅改修費の支給限度額(200千円)に納まらず、個人負担が大きくなるケースも予想されることから、高齢者等の自立促進、介護者の負担軽減等を図るため、引き続き継続とする。 |

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

| 今後の方向性(総合評価) | 方向性の理由、改善案等 |
|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 | 一次評価と同様に現行のまま継続とする。 |

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

| 今後の方向性(総合評価) | 方向性の理由、改善案等 |
|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 | 二次評価と同様に現行のまま継続とする。 |